

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2005-160763(P2005-160763A)

【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2005-024

【出願番号】特願2003-404317(P2003-404317)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月25日(2006.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件成立に基づいて、遊技者にとって有利な遊技状態とするか否かを示す所定の表示演出を表示する表示手段と、

前記表示手段で表示されるべき表示演出を決定する表示演出決定手段と、

前記表示演出決定手段で決定された表示演出を前記表示手段に表示させるように制御する表示制御手段と、

遊技者による遊技の結果により払出される被対象物の数を計数する払出計数手段と、

前記払出計数手段で所定期間内に計数された被対象物の総数が所定値を超えたことを検出する超過検出手段と、

を備え、

前記表示演出決定手段は、前記超過検出手段で当該検出がされると、所定の表示演出よりも表示演出時間の長い表示演出を決定する確率が高くなるように設定される

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記払出計数手段は、払出される被対象物の数を記憶する払出記憶手段を備え、

前記払出記憶手段は、払出される被対象物の数を数えるカウンタと、

前記カウンタの値を記憶する複数個のバッファと、

前記カウンタの値を前記複数個のバッファの何れに記憶させるかを指示するポインタとを備えている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項2に記載の遊技機において、

前記ポインタは、所定時間を計時するタイマ部を備え、

前記タイマ部の所定時間を計時するごとに、指示する前記バッファを順番に異ならせる
ようにして決定することを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項 3 に記載の遊技機において、

前記払出計数手段は、所定時間に前記払出記憶手段に記憶された被対象物の数を演算する払出数演算手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

請求項 2 から請求項 4 のいずれか一つに記載の遊技機において、

前記バッファは、n 個（但し、n は、0, 1 を含まない自然数である）設けられ、

当該 n 個のバッファに、1 から n までの番号を付与し、前記カウンタの値を 1 から n の番号の順にそのバッファに記憶し、n の番号の次には、1 の番号のバッファに記憶することを特徴とする遊技機。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか一つに記載の遊技機において、

前記超過検出手段は、所定値を記憶する所定値記憶部を備え、

前記払出数演算手段で算出された値が当該所定値記憶部に記憶されている所定値を超えているかを判定する判定部を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 のいずれか一つに記載の遊技機において、

前記表示演出決定手段は、所定の表示演出よりも表示演出時間の長い表示演出を決定する確率が高く設定されている長時間用表示演出決定テーブルを備え、前記判定部で演算された値が所定値を超えていると判定されたことに基づき、当該長時間用表示演出決定テーブルを選択し、表示演出を決定すること特徴とする遊技機。